

乗合タクシーの実績報告等について

<目次>

○ 乗合タクシーの実績報告

- 1 平成29年度乗合タクシーの利用実績
- 2 乗合タクシーの利用実績の推移（実証実験運行期間を含む）
- 3 乗降場所別に見た利用状況の分析（平成28年度及び29年度）
- 4 乗合タクシーの今後の運行計画

○ 乗合タクシーの実績報告

1 平成29年度乗合タクシーの利用実績

(1) 全体の利用実績

年間利用者数	運行日数	1日平均利用者数	年度末登録者数	利用者利用料
4,680人	293日	16.0人	739人	779,250円

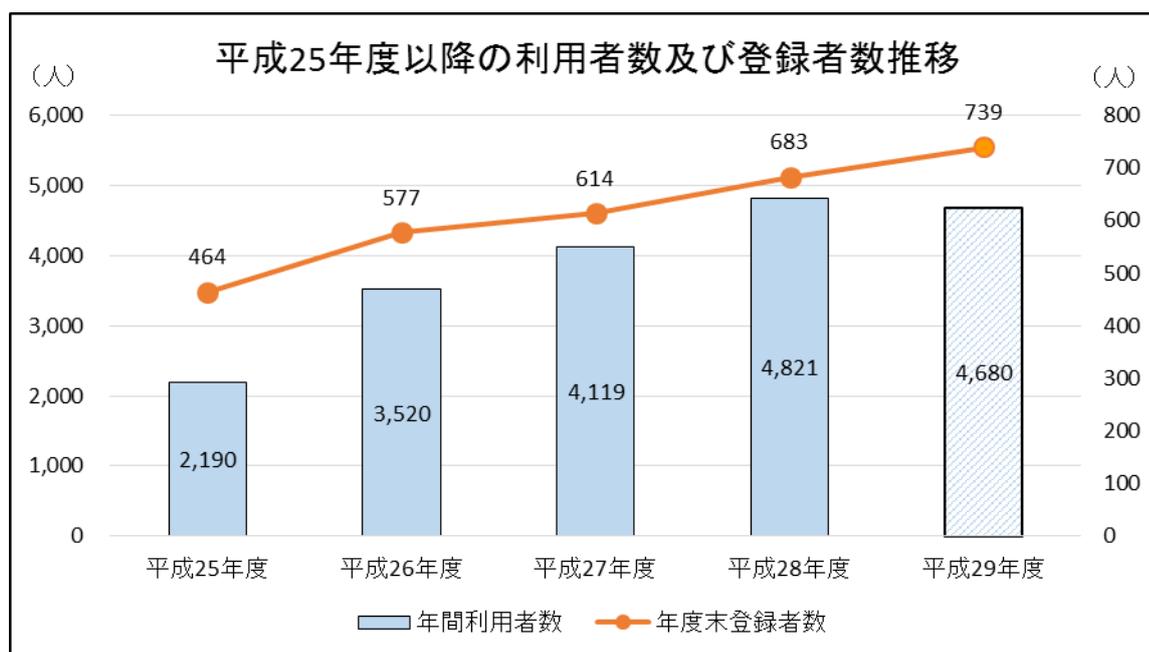
(2) 登録区分別利用者内訳

障害者手帳等所持者、要介護（要支援）認定者及びシルバーパス所持者の利用が全体の約70%を占めている。また、障害者手帳等所持者及び要介護（要支援）認定者の利用者のうち約12%が介助者と同乗している。

	一般利用者	障害者手帳等所持者・要介護（要支援）認定者	シルバーパス所持者	介助者	小学生	未就学児
利用料金	300円	150円				無料
利用者数	864人	1,359人	1,890人	162人	56人	349人
利用者割合	18.5%	29.0%	40.4%	3.5%	1.2%	7.5%

2 乗合タクシーの利用実績の推移（実証実験運行期間を含む）

運行開始以降、登録者数は年々増加傾向で推移しているが、利用者数については、平成29年度は微減に転じている。



3 乗降場所別に見た利用状況の分析（平成28年度～29年度）

平成25年4月の実証実験運行開始から現在までの間に、二度にわたり利用者の要望等に応じて乗降場所の追加を実施したが、平成28年度～29年度の利用割合を見ると、運行開始当初からの乗降場所6か所（下記乗降場所①～⑥）が全体の90%以上の利用率を占めており、その後追加した乗降場所（⑦～⑬）の利用率は低い水準となっている。

また、施設によっては、利用者の大幅な増減が見られる。「村山温泉かたくりの湯」については、約1年間の施設改修を行っていた影響と推測するが、その他の施設においては現状では原因を特定することが困難である。ただし、今後も利用状況を注視し利用傾向の把握に努め、利便性の向上を図ることとする。

乗降場所名	H29年度 利用者数	割合	H28年度 利用者数	割合	H29増減	備考
①市役所	760人	16.2%	756人	15.7%	4人	平成25年4月 当初設定
②市民総合センター	155人	3.3%	606人	12.6%	-451人	
③保健相談センターお伊勢の森分室	63人	1.3%	53人	1.1%	10人	
④武蔵村山病院	1,324人	28.3%	1,115人	23.1%	209人	
⑤村山医療センター	168人	3.6%	207人	4.3%	-39人	
⑥交通プラザ(イオンモール)	2,028人	43.3%	1,685人	35.0%	343人	
⑦村山温泉かたくりの湯	14人	0.3%	161人	3.3%	-147人	平成26年10月 追加
⑧総合体育館	26人	0.6%	102人	2.1%	-76人	
⑨武蔵村山郵便局	42人	0.9%	35人	0.7%	7人	
⑩三ツ木地区学習等供用施設	16人	0.3%	7人	0.1%	9人	平成28年4月 追加
⑪残堀・伊奈平地区学習等供用施設	17人	0.4%	64人	1.3%	-47人	
⑫第二老人福祉館	29人	0.6%	7人	0.1%	22人	
⑬緑が丘ふれあいセンター	38人	0.8%	23人	0.5%	15人	
合計	4,680人	100%	4,821人	100%	-141人	

4 乗合タクシーの今後の運行計画

(1) 一般登録者の傷病等による介助者の利用の本格運用

一般登録者の傷病等を理由とした介助者の同乗については、平成29年1月4日から当分の間試行運用を行うこととしてきたが、次の理由から平成31年1月4日から本格運用を実施することとしたい。（参考資料 参照）

なお、本格運用では、要件等の見直しは行わず、試行運用と同内容で移行することとする。

- ① 平成30年2月までの間は、問い合わせ等はあったものの実際の利用がなかったが、平成30年3月及び4月に各1件の利用実績があったこと。
- ② 課題となる事案が発生していないこと。

(2) その他今後の取組

乗合タクシーの本格運行が開始され3年が経過することから、市民からの要望、運行区域及び乗降場所等についての課題の抽出・検証等を行い、利便性及び利用率の向上に努めることとする。